

すわみつえ通信

No.134 2020年7月27日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に



各団体の皆さん、（写真前列・左から2番目）
すわみつえ市議＝鴻巣市役所玄関前、7月23日

島・長崎を目標として歩く「2020年・被曝75年の国民平和大行進」は7月23日（木）9時に鴻巣市役所玄関前で出発式が行われました。
今年は3密を防ぐため各団体の代表者の参加に限り、歩いての行進は行いませんでした。宣伝カーで市内を回った後、非核平和都市宣言の鴻巣市から北本市に平和のバトンをつなぎ、さらに「ノーモアヒバクシヤ」の声は広島・長崎へと続きます。

2017年7月に国連総会で、122か国の賛成によって核兵器禁止条約が採択されました。条約は、50か国が批准すれば90日後に発効します。批准した国は40か国に達しました（2020年7月26日現在）。あと10か国です。

「ノーモアヒバクシヤ」の声とどけ

「国民平和大行進」に参加して

広島・長崎の被曝75年となる今年（JN）日本が被爆国にふさわしい役割を果たすよう政治の転換が求められていると感じました。

鴻巣市新型コロナ対策 感染者増えています

7月24日に鴻巣市では、21例目の新型コロナウィルス感染を公表しました。埼玉県内の陽性確認者数は、2,035人（7月25日現在）で、入院されている方は、2558人（うち重症者3人）、県が指定した宿泊所での療養者は103人、自宅療養者は70人となっています。退院療養終了した方は、1,497人です。（県ホームページ）

埼玉県のPCR検査によると、緊急事態宣言時の陽性率は0.5%まで下がっていましたが、現在は再び4%まで上がっています。

6月の埼玉県議会では新型コロナウイルス感染症の長期化・第一波に備えるため、医療提供体制の強化や医療・介護従事者等支援の補正予算が組まれました。

発熱外来PCR検査の拡充のため13億2080万円の追加。現在、

埼玉県議会で医療体制の拡充決まる

炊き出しを待つ列静か風青し

俳句コーナー

小野嗣朗

体調の変化や発熱で不安を感じられましたら、まず「かりつけ医・普段かかりているお医者さん」に電話で相談をしてください。感染の疑いがあればPCR検査センターが紹介されます。



都市医師会が県より委託され、PCR検査センターを開設していますが、委託を来年3月まで継続することが決定しました。診療時間の延長などで検査体制を強化するための費用としています。

体調変化のときは、いつものお医者さんに電話

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



「新型コロナQ&A」 第4弾パンフできました

東京など大都市部を中心に新型コロナ感染症が再拡大しています。暮らしや営業への打撃も重大です。どうしたら感染拡大を防止できるのか、暮らしや営業を守るには...。

Q&Aで考えます。（「しんぶん赤旗」7月19日付掲載）

★日本共産党ホームページからダウンロードできます

見た目は白桃ですが 実はオカリナ 「桃太郎」専用 岡山の演奏家作る



おいしそうな白桃なのに、手に取るとオカリナ？演奏家の軽部りつこさん（42）＝岡山市北区＝が、白桃そっくりのオカリナ「もも笛」を作った。童謡「桃太郎」

を演奏するために考案した専用の楽器で、岡山のPRにつなげたいと意気込んでいる。

もも笛（直径約8センチ）はその名の通り、白桃そのものの形。完熟をイメージし、淡いクリーム色に一部をピンクに色付けしている。普通のオカリナは13個の穴があるが、「桃太郎」専用にするため、あえて6個にとどめた。演奏に必要なドレミソラドの6音だけが出る。白桃のように大きなサイズになると音は低くなるが、かわいらしい音が出るよう中に間仕切りを設ける工夫もした。

軽部さんは長年、オカリナ奏者として活動し、楽器も制作してきた。岡山を代表する果物と、誰でも手軽に音を出せるオカリナの合体を発案。岡山には桃太郎伝説にまつわる数多くの史跡があることから、童謡と結び付けた。

自ら演奏に使うほか、1個3千円で販売も行っている。第1弾で作った30個は完売した。今後は足守プラザ（同足守）と共同で生産を続ける予定にしており、桃太郎の楽譜とセットで販売する。

【山陽新聞 7月19日付】

熱中症の搬送、6月は1.8倍 埼玉県の 「まいたま防災」アプリで危険通知 厳重警戒以上の日、昨年熊谷で46日

埼玉県は、県の災害対策アプリ「まいたま防災」で熱中症予防情報をプッシュ配信している。予防情報はまいたま防災に利用登録することで、当日の暑さ指数が「厳重警戒」以上になると予測される場合に配信される。

暑さ指数は、湿度、気温、輻射（ふくしゃ）などの熱環境を反映した指標。暑さ指数は危険、厳重警戒、警戒、注意の4段階で示され、指数が厳重警戒以上になると予測されると、午前8時ごろに利⽤者に通知が届く。

県内にある寄居、熊谷、久喜、秩父の観測所が、6月に県内で熱中症の観測所があれば通知される。厳重警戒以上の日数は熊谷で2018年に67日、19年に46日あった。

疑いで救急搬送されたのは前年同月比で約1・8倍の379人になった。



静岡市「ワンバサダー」100匹 香囁へ 特製スカーフ着けて お散歩、「国勢調査」PR役に

5年に1度の国勢調査が今秋実施されるのに合わせ、静岡市はPR役を担う飼い犬100匹を募集する。散歩中の犬にPR用のスカーフを身に着けてもらい、歩く広告塔として活動してもらう同市独自の取り組み。

新型コロナウイルス感染症対策として、調査員と市民の接触の機会を極力減らそうと、市はインターネットでの回答を推奨している。そのPR役として散歩の機会が多い飼い犬に着目し、国勢調査インターネット回答推進大使「ワンバサダー」として委嘱することにした。

任期は9月2日から10月7日まで。散歩だけでなく、スカーフを着けた姿を会員制交流サイト(SNS)に投稿してもらい、PRの相乗効果も狙う。

今回の国勢調査が100周年にあたることから、募集犬数を100匹にした。【静岡新聞 7月21日付】



スカーフを着けた犬